

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野県高等学校コマ大戦の実施
事業主体 (連絡先)	まつもと広域ものづくりフェア実行委員会 (松本商工会議所 ものづくり支援グループ TEL: 0263-32-5350)
事業区分	⑥オ: その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 ③: 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	987,042 円 (うち支援金: 622,000 円)

事業内容

ものづくりフェア内で行う「長野県高等学校コマ大戦」は長野県内の工業高校を中心とした生徒により製作されたコマによる競技大会で、本年度で4回目の開催を迎えた。年々、参加校、参加チームが増加する中で、大会規模を拡大するため「元気づくり支援金」の支援を受け、土俵の増設、来場者にご覧いただく中継映像の充実化等に活用した。本年は7校31チーム(内1チーム棄権)にエントリーをいただき、7グループに分かれた予選リーグの後、16チームで争われるトーナメント戦を行い、上田千曲高校のチーム(上田千曲8号)が優勝を飾った。



【 大会の様子 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① コマ大戦に係わる方の満足度を高める取り組み

・トーナメント制からリーグ戦形式への変更

昨年度の課題であった早期敗退チームへの配慮を欠いていたという経緯から、本年は土俵を2台に増設しリーグ戦形式を採用した。5チームリーグ2組、4チームリーグ5組による予選リーグを行い、勝ち進んだ上位16チームでの決勝トーナメントを行った。この取組により、一定の試合数の実施が可能となり、参加する高校生のコマの製作の成果・技術力を披露する場として多くの試合をしてもらえるような形で運営できた。

・中継映像の改善

昨年までプロジェクターを用いてスクリーンに試合映像を投影していたが、本年は70インチの液晶モニターを2台用意し同時に行われる2試合を中継した。体育館の照明や日光などの光に左右されないクリアな試合映像を来場者に提供することで大会自体の完成度を高め、来場者の満足度を向上することができた。

【目標・ねらい】

- ① コマ大戦に係わる全ての方の満足度を高め、参加者の日頃の成果、技術力を披露する場とする。
- ② 将来の産業の担い手を育成する。

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・大会自体は盛り上がりを見せ、当初の目標であった高校生に多くの試合をしてもらうような仕組、参加生徒のモチベーションを高めるよう賞品の充実化等の取り組みを行い、参加校のアンケート結果でも概ねの評価をいただいた。今後は将来のものづくり人材の育成という観点からもアプローチしていければよい。

・表彰の充実化

上位入賞8チームを表彰することにより、大会に参加する生徒のモチベーションを高めることができた。参加校のアンケート結果でも「参加生徒も大変喜んでおり、今後のコマの製作に繋げていきたい」といった評価も頂いた。

②将来の産業の担い手を育成する取組

将来の産業を担う若者の育成という観点から、身近な工業人である工業高校生の活躍を見てもらい、来場する多くの小中学生にもものづくりへの興味・関心をもってもらえるようイベント自体の盛り上げに注力した。また参加校から「コマの製作が高校生の技術向上の一助となっている」という回答もあり、コマの製作を通じて、ものづくりへの造詣を深め、後の地域製造業の就職に繋げていけるような事業にしていきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度で4回目の開催を迎えた「長野県高等学校コマ大戦」だが、元気づくり支援金の支援を受けたことで、大会自体は盛り上がりを見せ、概ね成功と言っていい成果を上げることができた。今後はより大勢の高校生が参加してもらうような大会にしていくのはもちろん、単なるイベントとしての開催ではなく、ものづくりフェアの開催趣旨であるように、フェアを通じて若者の地域への定着を図るような取組を絡ませたイベントにしていくことが必要であると感じた。例えば企業が高校生にコマの製作を教えるような機会を作ることによって、ものづくりのより深い部分を理解してもらい、将来の製造業への就職に繋げていけるような内容を含んだ事業となればなお良いと感じた。アンケートでも「コマ大戦を通じて製造業への就職に繋がればよい」という意見も頂いており、ものづくりフェア自体の運営面との兼ね合いもあるが、今後の課題として検討していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある